

## 第2回 学校運営協議会 議事録

校名	府立思斉支援学校
校長名	長尾 浩一

開催日時	令和3年12月1日(水) 10:00~11:00
開催場所	府立思斉支援学校 3階 学習室
出席者(委員)	石山会長、赤坂委員、栗山委員、三木委員、山中委員
出席者(学校)	長尾校長、白川事務長、田口教頭、紙野教頭 橋本首席、酒井首席、村上首席、中務首席
傍聴者	0名
協議資料	令和3年度学校経営計画、思斉支援学校キャリアプランニングマトリクス マトリクス運用シート及び記入例、令和4年度使用教科用図書一覧表

議題等(次第順)
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、学校長あいさつ</li> <li>2、令和3年度学校経営計画進捗について</li> <li>3、学校教育自己診断について</li> <li>4、キャリア教育支援体制強化事業について</li> <li>5、令和4年度教科書について</li> </ol>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>2、令和3年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染症の対策及び体制を見直し、感染症対策を講じながら教育活動を継続している。</li> <li>・首席の役割を明確化し、分掌表に位置づけて学校組織の整備を進めている。</li> <li>・授業力の向上をめざして、効果的な研修を実施している。</li> <li>・個人情報を集約しているロッカーの鍵管理について、鍵管理台帳をもとに行っていた手作業を鍵管理機で自動化することによって、管理の正確性と効率性を高めた。また、職員室に防犯カメラを設置した。</li> <li>・令和2年度から4年度まで、本校は大阪府教育委員会が指定するキャリア教育支援体制強化事業のモデル校に指定されており、実践に取り組んでいる。</li> <li>・特別支援教育のセンター的機能の発揮と地域と連携した安全で安心な開かれた学校づくりを進める。 委員から、思斉支援学校の子どもたちにつけてほしい力について、次のとおり意見をいただいた。 (委員) 地域との交流を深めながら生きていく力をつけてほしい。 (委員) (卒業後の) 次のステップへ送り出すために、しっかりと(人間の) 幹となる部分を育ててほしい。子どもたちにどんな力が必要かを分析し、高めてほしい。コミュニケーション能力はその一つ。小学校・中学校・特別支援学校の連携を深めたい。</li> </ul>

(委員) 子どもたちの個性を大切に生きてほしい。学力をベースにして心地よく生きていけるように。周りの人たちとうまく関係性をつくれる力が必要。

(委員) 就職率に目が行きがちだが、本当に大切なのは仕事を続けられるところの部分。最近、学校でいろいろなことを学ぶことができるが増えているのに、こころが育っていないから仕事が続かない子どもがいる。自己肯定感など子どもの基本の部分強くしてほしい。

(委員) 様々な事情のある子どもたちがいる。大人との関係性を築くことが難しい子どももいるなか、先生方には子どもに寄り添った支援をしていただきたい。その中で、社会性を身につけてほしい。

### 3、学校教育自己診断について

- ・本年度より保護者・教職員に加え、児童生徒からも回答を得た。
- ・回答方法は従来の記述式を改め、OCR（マークシート方式）を採用した。
- ・現在集計作業中であり、結果は第3回学校運営協議会でお伝えする。

### 4、キャリア教育支援体制強化事業について

- ・本校のキャリアプランニングマトリクスについて説明した。
- ・本校が現在実施しているマトリクス運用キャンペーンについて説明した。
- ・今後の事業展開について説明した。

#### 委員からのご意見

(委員) 例えば自分の意見を言うことや援助を求める力など、マトリクスに掲載していない内容はどのように扱うか。

(首席) マトリクスに載せてある内容は固定なものではなく、現在行っている「マトリクス運用キャンペーン」において、現場の先生から必要と思える力が挙げれば、必要な内容を加筆したり、改めたりして対応していく。

### 5、令和4年度教科書について

- ・別紙資料を参照しながら、来年度に使用する教科書について説明した。

次回の会議日程	
日時	令和4年2月4日（金）10:00～
会場	思斉支援学校 学習室